

製品名: FBP2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10860**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	KHSRP
別名	KHSRP; FUBP2; Far upstream element-binding protein 2; FUSE-binding protein 2; KH type-splicing regulatory protein; KSRP; p75
遺伝子 ID	8570.0
SwissProt ID	Q92945
免疫原	ヒト FBP2 の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

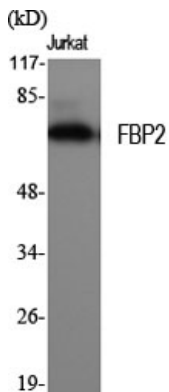
背景

KHSRP 遺伝子は、転写、選択的プレ mRNA スプライシング、mRNA の局在化など、さまざまな細胞プロセスに関与する多機能性

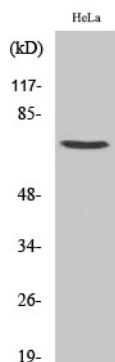
RNA 結合タンパク質をコードしています (Min et al., 1997 [PubMed 9136930]; Gherzi et al., 2004 [PubMed 15175153])。[OMIM 提供、2010 年 4 月]機能: 樹状突起標的のエLEMENT に結合し、mRNA 輸送において役割を果たす可能性があります (類似性による)。プレ mRNA の下流制御配列 (DCS) に結合する三元複合体の一部です。組織特異的な選択的スプライシングの対象となる転写産物へのエクソンの挿入を仲介します。はるか上流ELEMENT (FUSE) からの一本鎖 DNA と相互作用する可能性があります。遺伝子発現を活性化する可能性があります。3'-UTR に AU リッチELEMENT (ARE) を含む本質的に不安定な mRNA の分解にも関与しており、ARE を含む mRNA に分解機構をリクルートすることでその役割を担っていると考えられる。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR によるものと思われる。類似性: KHSRP ファミリーに属する。類似性: 4 つの KH ドメインを含む。細胞内局在: 神経細胞体および樹状突起の細胞質にも少量存在する。サブユニット: FUBP2、PTBP1、PTBP2、および HNRPH1 を含む三元複合体の一部。PARN と相互作用する。また、アポリポタンパク質 B mRNA 編集酵素複合体の一部である APC とも相互作用する。この相互作用は触媒成分である APOBEC1 の活性には必須ではないが、複合体の安定性に寄与している可能性がある。組織特異性: 神経細胞株および非神経細胞株で検出される。、

研究分野

画像データ



FBP2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



FBP2 ポリクローナル抗体を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析